

地域のボランティアスクール

ふれあい

2022年1月号 No.51

横浜みどりの学校ひまわり

こんな学校があってもいいかも（既存の教育にとらわれない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、10年前に開設されました。

新年に思う

—マイノリティの子ども達との出会い—

校長 渡辺 正彦

皆様、新年おめでとうございます。

コロナ禍で迎えた新しい年の夜明けは人々の不安を払拭するような蒼天でした。

我が小さな学校、横浜みどりの学校ひまわりも創立11年目を迎えました。

9年間お世話になった、地元さつきが丘小学校の校長を退職の折に地域の皆様にご挨拶をする中で、校長としての自分が果たせなかった無念さを述べたところ、出席の方々から「そんなに悔やんでいるなら俺たちが応援するから学校つくれよ」の一声が小さな学校、ひまわりの始まりでした。あれから10年が経過した今、声をかけてくださった何人かの方々は正月の空のような蒼天の彼方に旅立って行きました。10年の時を改めて実感します。

この10年間の小さな学校での私の実践はただ一つだけでした。それは、マイノリティとよばれる社会的少数派の子ども達の支援です。その子ども達の多くは学校生活に不適應感を示す子ども達であり、世間は彼ら（彼女ら）を「不登校児（生徒）」とよんでおります。不登校とは学校に行かない（いけない）ことを表す概念ですが、その概念に該当する子ども達は多様です。学校に行く意味を見いだせない子どもから学校に行くことに想像を絶するほどの苦痛と恐怖を感じる者まで様々です。

私が公立学校の教師の頃は、そんな不登校の子ども達に対して、あの手この手で学校にこさせようとしたものです。

この10年間の私はマイノリティの子ども達との深い関わりの中でその考えが揺らいできました。同時に過去の自分の考えがいかに観念的であり、マイノリティの子ども達の心を理解していなかったことかと反省をしました。

世の多くの子ども達は、学校という先人がつくりあげた社会制度に適合します。そして不登校の子どもの何割かは適切な支援で学校に行けるようになります。けれども、生まれながらにして学校という仕組みに適合しない子ども達の存在をこの10年間で知ることができました。

明治の学制以来、日本の教育は全て勉強や道徳に満遍なく長けた子ども、オールマイティーの子どもの育成に特化してきました。それはジェネラリスト育成教育です。しかし今、成すべきことは、学校の枠に適合しない子どもや特定の分野に能力を持って生まれた子どもへの肯定的な対応です。算数に天才的な能力を持つ反面、脳の偏りなどにより、ひらがなが上手に書けない子どもにはそれを認めて算数のスペシャリストとしての教育を施すべきだと思います。

今年もマイノリティな子ども達にふれ、その素晴らしさや貴重さを実感して、正月の朝の蒼天な心でありたいと思います

ひまわり子供支援財団が発足しました

予てから準備をしておりました「ひまわり子供支援財団」が 1 月に発足をしました。財団の目的は、経済的な面からの子ども支援です。当面はひまわりの活動費(授業料相当、月 3,000 円または月 1,000 円)の支払いが困難な家庭などに緊急つなぎ援助金として無利子で貸与されます。財源の 20 万円はひまわりボランティアや保護者の協賛金でまかないました。細やかな金額ですが温かな心がこもっております。横浜みどりの学校ひまわりでは子どもをあらゆる角度から支援したいと思います。 賛同の皆様の賛助金を募っております。

ひまわり通信制コースが設置されます

通学児童・生徒の広域化や自宅ひきこもり状態からひまわり本校に通学することが困難な子ども達のために「ひまわり通信制コース」が本年4月を目処に設置されることになりました。現在、八王子市や藤沢市、厚木市などからの遠距離通学者もおりそれらの子ども達は通信制コースとの併用利用も可能になります。ひまわりの子ども支援が一段と充実してきます。利用者および通信制(オンライン)指導者を募集しております。開講講座は学習指導、趣味(囲碁、将棋など)、チャット、ゲームなどを通じたソーシャルスキル構築などが予定されております。

校内人事

- ・元大学講師(理工系)の A 先生がボランティアに加わりました。
- ・若手の B 先生がボランティアに加わりました。先生は教育系大学に在学経験があります。
- ・元高校教師の C 先生が教育現場復帰のためボランティアを辞しました。
- ・元小学校教諭(支援級担当)の D 先生が職場復帰のため休職扱いになりました。

鉄道模型提供のお願い

鉄道模型クラブを設立することになりました。不要の鉄道模型がございましたら提供をお願いします。



ボランティア・保護者でつくる専門部会活動報告

子どもをあらゆる角度から支援していこうとの目的から11の専門部会が活動しております。

鍼灸・アロマ・ヨガ部会	ハーブを材料にした香り袋を子ども達と製作しました。
学習部会	「メビウスの輪の製作」や「サイコロを作ろう」の体験などを子どもと共に実施しました。
環境部会	環境アンケートや校舎内外の営繕活動をしました。
庶務部会	子ども達がアピールできるように室内掲示板を新設しました。
心理部会	推薦図書を紹介を行いました。
養鶏・飼育部会	鶏と亀の飼育環境整備を行いました。

先生は、大手電機メーカーの元社員です。趣味が高じてか本校では農場の担当と子どもの農業指導を中心に力を発揮して下さいしております。工藤先生の出身は秋田県大館市です。温和な先生は東北人特有の粘り強さと丁寧さが売りです。

70代半ばを過ぎた今も至ってお元気で、本校でのボランティアのほかに地域のケアプラザの「男の料理教室」でも活躍しております。趣味がバレーボール、テニスというのも元気な証しです。今から春の農作業が待ち遠しそうです。

青葉区しらとり台在住 30年

ひまわりの様子

1月の「ひまわりふれあいレストラン」開店 1月15日(土)

フードバンク神奈川から提供の食材と採りたてひまわり野菜を使った今回のメニューは、「ひまわり野菜とお肉のあったか〜い鍋」と「もちもちおはぎ」のセットです。当日は、チーフ役の林さんを中心に保護者ボランティアの皆さんが新しい年に期待を込めて調理しました。はらぺこな子ども達は大喜びで、お代わりが続出しました。コロナが収束した暁には一般公開も検討されております。



コロナ払拭の願いを込めて、どんど焼きが開催 1月15日(土)

市立さつきが丘小学校「郷土史の会」主催、横浜みどりの学校ひまわり後援の「下台のどんど焼き」が行われました。今年は、コロナ禍であることも配慮して規模を縮小して開催されましたが、天候にも恵まれて多くの地域の方々が来場されました。

なお、さつきが丘小学校郷土史の会は、本校の渡辺校長がさつきが丘小学校の校長時代に設立したボランティア団体です。

本校の下山理事長が会長を務めております。



子どもが創るクリスマス会が開催されました
 去年 12 月 24 日及び 25 日には、子ども達の
 「クリスマス会実行委員会」主催の
 クリスマス会が初めて開催されました。
 当日は、ビンゴ、じゃんけん大会などで
 楽しく盛り上がりました。



ひまわり農場だより

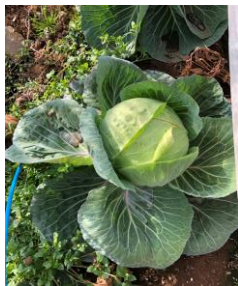
◇近隣農家さん2軒よりイチゴ苗を200本いただき植え付けました。

5月の子どもとのイチゴ摘みが今から楽しみです。

◇ヤーコンの葉からヤーコン茶をつくり、校内販売をしました。意外と美味でした。

◇今年はハヤトウリが大収穫でした。大特価で校内販売をしました。

◇冬撒きの白首ダイコンの種をまきました。春には収穫ができます。



今月のおすすめDVD

映画「ちづる」(形式：DVD) 赤崎正和 (監督)

立教大学で映像制作を学んだ大学生監督の卒業制作として世に出たドキュメンタリー映画(79分)DVDです。公開当時ぴあ満足度ランキング1位をとり多くのマスコミで取り上げられていたので、あ、覚えている!という方もいらっしゃるかもしれません。



重度の知的障害と自閉症をもったちづるは、赤崎正和監督の妹。

“妹のことをどう説明したらいいかわからない。だから言葉で伝えるかわりにカメラを向けることにした”とあります。妹ちづるとその母の日常を一年間にわたって撮り続けた兄(監督)、3人の物語です。くすっと笑えて何だか泣けて、何度観てもじんわり心に響く映画です。ご自宅でゆっくりご覧になりませんか。(ひまわりで貸し出しができます)

～心理部会 千賀先生よりご推薦いただきました。

ボランティア募集

【内容】子どもの見守り、学校事務など

【条件】・週2回以上勤務可能な方

・オンラインでの指導が可能な方

・臨床心理士など有資格者

以上のような方を特に求めています。

★ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、

渡辺(090-9201-3992)までお気軽にお問い合わせください。

最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/>とFacebookにてアップデートしています。